

年度 2007 学期 後期	曜日・校時 火・4	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	人間の科学(映画から見る精神医学:シネサイアトリーへの招待) Human Sciences (Cinepsychiatry)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等)	全学部	科目分類	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:小澤 寛樹 / Eメールアドレス:ozawa07@nagasaki-u.ac.jp / 研究室:精神神経科教授室/ オフィスアワー:水 12:00 - 13:00			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい: 具体的にイメージしにくい精神医学の様々な現象、症状、問題に関して映画・テレビなどの映像表現を通じて、人のこころに対する理解を深め、自己の考え・感情を論理的・能動的に議論することを目的とする。</p> <p>授業方法: 精神医学的問題をテーマとした映画あるいはドラマを取り上げ鑑賞する。疑問点を教員とともにグループ討論し、ときにはデベートし、理解を深める。</p> <p>授業到達目標: 精神医学の知識の獲得とともに、精神疾患に対する先入観(スティグマ)の是正。</p>			
<p>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>授業内容(概要) 人数にもよりますが、一例として下記のような方法を挙げておきます。 テーマ・映画を決める(教員が題材に関してはアドバイスします) 担当学生がインターネット、教科書などで精神医学・映画の概要を調べてくる 担当学生が精神医学に関するプレゼンテーション、教員補足 皆で映画の鑑賞 担当学生映画の解説と感想をのべる。そのとき学生は話し合ってもらいたい論点を提示する 論点を中心に皆で話し合いと映画の振り返り 感想を次回までA4一枚以上に書き提出。</p> <p>1, 2回 統合失調症(ビューティフルマインド) 3, 4回 パニック障害(アナライズミー) 5, 6回 強迫性障害(恋愛小説家) 7, 8回 自閉症(レインマン) 9, 10回 認知症(私の頭の中の消しゴム) 11, 12回 多重人格(ファイトクラブ) 13, 14回 脳炎(エクソシスト) 15回 まとめ</p> <p>【注意】 3回目以降の講義場所は附属病院1Fの精神科カンファレンスルーム(17時開始)となります。 映画やドラマを鑑賞するという都合上、2コマ分の時間を利用します。 その分、授業回数を約8回とします。(日程は講義初日に皆さんと相談して決定します。)</p>			
キーワード	統合失調症、境界例、強迫性障害、うつ病、解離性同一性障害、器質性精神病		
教科書・教材・参考書	プリントの配布		
成績評価の方法・基準等	レポート(50%) ディスカッションへの参加状況(50%)		
受講要件(履修条件)	5校時目以降に他の科目を受講する方はご遠慮ください。		
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			